



庭園

石と水と緑がつくる小さな世界



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

庭園の入り口	3～4
庭園の種類	5～6
庭園をつくる要素	7～10
庭園と暮らし	11～15
確かめよう	16～19
くらべる・疑問	20～22
おさらい	23～25
つたえる	26～28
まとめ	29～30

日本庭園がどんな場所なのか、まず全体をつかみましょう。

ただ美しいだけでなく、見る人の心を落ち着かせるように工夫してつくられています。



ていえん / teien

石や水、植物などで自然の景色を表した庭

しゃっけい / shakkei

庭の外の山や林も景色として取り入れること

- 庭園には、実際の自然の風景をもとにしてつくられたものもあります。
- お寺や神社、お城など、いろいろな場所に庭園があります。

1. 庭園を見たことがあれば、どんな場所だったか書いてみよう。

庭園の歴史

日本庭園がどのように育まれてきたのかを学びます。



飛鳥～平安時代

あすか～へいあん

貴族の屋敷に池をつくる庭園がつくられ始めたといわれています

はじまり



室町時代

むろまち

禅の考え方が広まり、枯山水などの庭がつけられました

広がり



江戸時代

えど

大名が広い回遊式庭園をつくり、大名庭園として親しまれました

発展

ポイント

- 時代によって、庭園にこめられた考え方や形は少しずつ変わってきました。
- 多くの庭園は、当時の自然観や美意識を今に伝える資料でもあります。

やってみよう

1. いちばん古そうだと思う庭園の時代はどれですか。 _____

書いて覚えよう

池泉庭園・枯山水

代表的な2つの庭園の様式を学びます。

池泉庭園

水を使う庭

池や川を中心につくる

実際の水を取り入れる

舟遊びをすることもあった

貴族や大名の庭に多い

枯山水

水を使わない庭

砂や石で水の流れを表す

禅寺に多く見られる

見る人の想像で景色を感じる

静かなたたずまい

ポイント

- 池泉庭園は、実際の水の動きや光の反射を楽しめる庭です。
- 枯山水は、砂の模様や石の配置で、水の流れや山を表しています。

やってみよう

- 水がある庭と、水がない庭、どちらに興味がありますか。 _____

書いて覚えよう

茶庭（露地）・回遊式庭園

茶の湯のための庭と、歩いて楽しむ庭を学びます。

茶庭

ちやにわ／chaniwa

茶室へ向かう道につくられた、静かな庭

回遊式庭園

かいゆうしきていえん

歩きながら景色の変化を楽しむ庭

ポイント

- 茶庭は「露地」とも呼ばれ、飛び石や灯籠が置かれることが多いです。
- 回遊式庭園は、決まった通り道を歩くことで、次々に景色が変わるように工夫されています。

Emma

庭って、遠くから見るだけのものだと思ってた。



Ken

歩いて楽しむ庭もたくさんあるよ。歩くたびに景色が変わるんだ。

やってみよう

1. 歩きながら楽しむ庭に、行ってみたいと思いますか。 _____

書いて覚えよう

石の役割

庭園の石には、それぞれ役割があります。

ポイント

- 石は、山や島など、自然の景色を表すために置かれます。
- 石の組み合わせ方を「石組」といい、庭の骨組みになります。
- 大きさや形のちがう石を組み合わせ、奥行きを出すことがあります。

やってみよう

1. 庭の石が何を表しているか、想像して書いてみよう。

ワンポイント 庭園の石は動かせない大切な資産です。のぼったり、さわったりないようにしましょう。

書いて覚えよう

水と植物が、庭にどんな表情をあたえるかを学びます。

景色を映し、涼しさを感じさせる

枯山水で水の流れを表す

一年を通して緑を保つ

季節ごとに色を変える

灯笼

庭にかざられる灯籠について学びます。

灯籠とは、もともと火をともしためにつくられた石や金属の道具です。
今では明かりとしてだけでなく、庭のかざりとして置かれることが多くなっています。



ポイント

- 灯籠は、茶庭の道を照らすためにも置かれてきました。
- 形や大きさにいろいろな種類があり、置く場所によって雰囲気が変わります。

やってみよう

1. 灯籠を見たことがあれば、どんな形だったか書いてみよう。

書いて覚えよう

借景の工夫

庭のうしろに垣根や生け垣をあえて低くつくり、遠くの山や林を庭の一部のように見せる方法があります。これを「借景」といいます。

ポイント

- 借景は、庭の広さ以上の景色を感じさせる工夫です。
- 山や森など、まわりの自然を生かせる場所につくられることが多いです。

やってみよう

1. 自分の家の窓から見える景色を、庭の一部だと思って書いてみよう。

書いて覚えよう

桜や新緑が庭をいろどる

緑が深まり、水辺が涼しさを運ぶ

紅葉が庭全体を染める

雪が積もり、静けさが際立つ

歩きながら四季の変化を楽しむ

季節を問わず静かな趣がある

- 同じ庭でも、季節によってまったくちがう表情を見せてくれます。
- 日本各地に、長い歴史をもつ庭園が受け継がれています。

1. どの季節の庭園を見たいですか。理由も書こう。

Lesson
14-15

庭師の仕事・庭の手入れ

庭園を支える庭師の仕事と手入れの工夫を学びます。

庭師の仕事の例

木の枝を整える

苔や芝の手入れ

石や灯籠の点検

季節ごとの植えかえ

落ち葉のそうじ

美しい庭園は、庭師の日々の手入れによって保たれています。

ポイント

- 庭師は、木の形を長い時間をかけて少しずつ整えていきます。
- 手入れを続けることで、何十年、何百年も庭を保つことができます。

やってみよう

1. 自分が庭師だったら、どんな庭をつくってみたいですか。

書いて覚えよう

盆栽

ぼんさい／bonsai

鉢の中で木を育て、自然の景色を表す文化

鉢

はち／pot

盆栽の木を植える器

ポイント

- 盆栽は、庭園と同じように、自然の景色を小さく表す文化です。
- 枝の形を長い年月をかけて整え、育てる人ごとに個性が出ます。

やってみよう

1. 盆栽を見たことがあれば、どんな木だったか書いてみよう。

書いて覚えよう

急いで通り過ぎず、時間をかけて眺めると発見が増えます。

- 苔は湿り気のある場所に育ち、庭に落ち着いた緑をあたえます。
- 庭園には決まった見方はなく、自分なりの視点で楽しんでかまいません。

1. 庭園を見るとき、どこに注目してみたいですか。

14

- お寺や神社、公園など、身近な場所にも庭園があることがあります。
- 訪れる前に、その庭園の特徴を少し調べておくと、より楽しめます。

1. 近くで行けそうな庭園を1つさがしてみよう。

2. 訪れたら、いちばん心に残った景色を書いてみよう。

ワンポイント 次のページからは、実際に見て、体験しながら、庭園への理解を深めていきましょう。

一般社団法人文化芸術支援協会 | 庭園 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

写真や実物を見てみよう

見て、庭園をもっと身近に感じましょう。

見てみよう

庭園の写真集

お寺や公園の庭園

テレビ番組や動画

家や学校の植木

実際の庭園を歩くと、写真だけではわからない広さや音に気づけます。

ポイント

- 庭園には、四季の写真がそろっている資料集もあります。
- 近くの公園も、小さな庭園の要素を見つける練習になります。

やってみよう

1. 見つけた庭園の写真について、気づいたことを書こう。

書いて覚えよう

体験してみよう

実際に体験すると、庭園はもっと楽しくなります。

やってみよう

庭園を歩いてみる

石や砂の模様を観察する

小さな鉢植えをつくってみる

落ち葉やそうじを手伝う

多くは、家や学校でも安全に体験できます。

ポイント

- 体験すると、本や写真だけではわからない発見があります。
- 刃物や熱いものを使うときは、大人といっしょに行いましょう。

やってみよう

1. この中から1つえらんで、実際に体験してみよう。
2. 体験して気づいたことを書こう。

書いて覚えよう

18

地域によるちがい

庭園には、地域によるちがいもあります。

共通すること

日本各地に見られる考え方

自然を小さく表す

石・水・植物を使う

四季の変化を楽しむ

季節ごとに植物を選ぶ

ちがうこと

地域によって形がちがうもの

植える木の種類

気候によってちがう

庭園の広さや形

土地や歴史によってちがう

ポイント

- 「庭園は必ず～」と決めつけず、地域や場所によるちがいを大切にしましょう。
- 雪の多い地域では、雪にそなえた庭のつくり方もあります。

やってみよう

- あなたの地域にある庭園や植木の様子を1つ書こう。

書いて覚えよう

昔と今をくらべよう

庭園は、時代とともに少しずつ変わってきました。

昔

以前のようす

貴族や大名の庭

限られた人だけが楽しんだ

庭師が代々受け継ぐ技

師匠から弟子へ伝えられた

今

今のようす

多くの庭園が公開されている

誰でも訪れて楽しめる

家庭の庭にも取り入れられる

小さな坪庭など

ポイント

- 形や規模が変わっても、自然を大切にすることは受け継がれています。

やってみよう

1. 家族に、庭について昔と今で変わったと感じることを聞いてみよう。

書いて覚えよう

よくある疑問

庭園について、よくある疑問を確認しましょう。

よくある疑問

Q. 庭園の石や砂にさわってもいいですか？

A. 多くの庭園では立ち入りやさわることが禁止されています。表示や案内をよく確認しましょう。

Q. 枯山水の庭には、なぜ水がないのですか？

A. 水を使わなくても、砂の模様で水の流れを表す工夫がされているためです。

ポイント

- わからないことは、そのままにせず、本や詳しい人に聞いてみましょう。

やってみよう

1. 庭園について疑問に思うことを1つ書こう。

書いて覚えよう

- 石や苔、植物にはさわらず、決められた道を歩きましょう。
- 静かに鑑賞し、大きな声を出さないようにしましょう。
- 写真や動画を撮るときは、撮影してよい場所かを確認しましょう。

1. 庭園に行くときに気をつけたいことを1つ書こう。

用語をおさらい

この教材に出てきたことばを確認しよう。

庭園の様式

☐ 池泉庭園

水を使う庭

☐ 枯山水

砂や石で水を表す庭

☐ 回遊式庭園

歩いて楽しむ庭

庭園の道具と工夫

☐ 灯笼

石や金属でできた明かり

☐ 借景

外の景色を取り入れる工夫

☐ 盆栽

鉢の中で自然を表す文化

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。ことばを知ると、庭園がもっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

● オ. 砂や石で水を表す庭

2. 庭園の石には自由にさわってよい → (正しい / まちがい)

24

- | | | |
|--------------------------|--------------------|---------------|
| ☐ | 池泉庭園と枯山水のちがいを言える | 水を使うか使わないか |
| ☐ | 庭園を構成する要素を2つ以上言える | 石・水・植物・灯籠など |
| ☐ | 借景の意味を説明できる | 外の景色を取り入れる工夫 |
| ☐ | 庭園を訪れるときのマナーを1つ言える | さわらない・静かにするなど |

- **✓がつかなかった項目は、もう一度そのページを読み返してみましょう。**

家族や友だちに話してみよう

学んだ庭園のことを、自分のことばで伝えてみよう。

伝えたいこと

由来や意味

自分が感じたこと

相手に聞いてみたいこと

Ken の例

伝えたいこと 枯山水／由来や意味 砂や石で水の流れを表す庭／自分が感じたこと 水がなくても水を感じられることにおどろいた／聞いてみたいこと どんな庭を見てみたいか

ポイント

- 聞いてもらう相手に合わせて、ことばを選んでみましょう。

書いて覚えよう

英語で紹介してみよう

庭園を、短い英語でも紹介できるようにしよう。

枯山水

からさんすい／dry landscape garden

砂や石で水の流れを表す庭

借景

しゃっけい／borrowed scenery

外の景色も庭の一部として取り入れる工夫

Emma

庭園を英語で紹介するとき、どう説明する？



Ken

石や水で自然を表した庭だ、と意味を簡単に伝えるようにしているよ。

ポイント

- すべてを直訳しようとせず、意味を簡単なことばで伝えることが大切です。

やってみよう

- 紹介したい庭園の見どころを1つ選び、短い英語で説明してみよう。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

庭園の世界は、ここからどんどん広がります。

調べる方法

図書館で

庭園や造園の本を借りる

お寺や公園へ

実際の庭園を歩いてみる

動画で

庭師の仕事のようすを見る

次に学びたいテーマ

和室と畳

庭とつながる室内空間

茶の湯

茶庭と作法のつながり

世界遺産と日本文化

庭園も登録される文化財

ポイント

- 庭園を学んだ次は「茶の湯」もあわせて学ぶと、理解がさらに広がります。

書いて覚えよう

庭園チャレンジ

教室の外でも、庭園の魅力はすぐに見つけられます。

見つけよう

写真や映像で**日本庭園**を1つ探す

感じよう

石・水・植物のどれかをじっくり眺める

伝えよう

庭園の魅力を**友だちや家族に紹介**する

こたえ

L28 池泉庭園→エ 枯山水→オ 灯籠→イ 借景→ア 盆栽→ウ 2. 正しい / 正しい

L33 (例) 庭園とは、石や水、植物で自然の景色を表した庭のこと。

書いて覚えよう

庭園 (Season 7 | No.62)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。